

静止するまでその飛翔について回っていたところ, ある1か所で何かに執着するような飛翔に変化した. メスを探し当てたのかとよくみると, 草陰で休眠している夜行性のコスズメにシルビアシジミが何度も体当たりを試みるという珍しい挙動だと判明. いつものように探雌飛翔を繰り返していたシルビアシジミが, 偶然に休息中のコスズメの存在に気づき, いったい何者かと, その周りを何度も飛び回り, ときにはコスズメの胴体や翅部分に体当たりをして, 何度目かの接触時にはコスズメが嫌がるように翅を閉じる動作を示した.

このとき周りには他のシルビアシジミはいなく, コスズメに関わり合っていた時間は, 最初から最後まですべての挙動をビデオ撮影できた約15秒間で, コスズメが嫌がって翅を動かした段階でまた元の探雌飛翔に戻り, 結局はメスには出会えずにヒメハギで吸蜜し始めた. ビデオ撮影の内容を確認すると, シルビアシジミは何度もコスズメのまわりを飛んで, ときには体当たりの脚部分で胴体や翅に接触をしていることがわかる.

シルビアシジミの生息地では, オスの探雌飛翔中に他のオスが休息しているそばを飛んだ際にオス同士の絡み飛翔が始まることはよく目にできるが, 共にミヤコグサを食草とするモンキチョウが紛れ込むことがあっても, モンキチョウに体当たりをするような光景に出会ったことはない. 今回のように, シルビアシジミが他の昆虫に対してある意味攻撃的な挙動を示したことは珍しい事例だと思われる.

休息中のコスズメにまわりついて, 脚部分で胴体(図1), および左翅(図2)への接触を試みるシルビアシジミの様子がわかるように, ビデオ撮影記録から切り取った静止画像を示しておく.

観察日: 2021年4月27日12時50分

観察地: 兵庫県加古川市志方町

(Masami SHIMAZAKI 兵庫県高砂市)

(Yoshiko SHIMAZAKI 兵庫県高砂市)

## 兵庫県におけるカワラヒメコケムシの記録

脇村涼太郎

カワラヒメコケムシ *Euconnus dulcis* Sharp, 1886 は, 長崎県から記載されたハネカクシ科コケムシ亜科の甲虫である (Sharp, 1886). その後福井県からも記録され, 湿地性であることが明らかとなった (保科, 2010). 筆者はこれまで記録が無かった兵庫県にて本種を採集しているので報告する.



図 兵庫県産カワラヒメコケムシ.

1 ♀, 兵庫県姫路市余部区上余部, 23. X. 2017, 脇村採集, 保管.

採集したのは兵庫県南西部を流れる揖保川河川敷で, 台風で増水し河川敷に打ちあがった漂着物を篩にかけることによって得られた. 未筆ながら, 本種を同定していただき, 文献をご教示頂いた保科英人博士, 写真を撮影していただいた田作勇人氏に厚く御礼申し上げる.

### ○引用文献

保科英人, 2010. 日本産コケムシ科ヒメコケムシ属の分布に関する知見. ねじればね, 127: 19-20.  
Sharp, D., 1886. The Scydmaenidae of Japan. The Entomologist's Monthly Magazine, 23: 46-51.

(Ryōtarō WAKIMURA 東海大学生物学部)